

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社トンボはSDGs実現に向けた取り組みを実施しています。

表紙作品について



パラリンアート

パラリンアートは、障がい者アーティストと一つのチームとなり、社会保障費に依存せず、民間企業・個人の継続協力で障がい者支援を継続できる社会貢献型事業です。(事業主体：一般社団法人障がい者自立推進機構)



株式会社トンボはシルバーパートナーとして、この事業を支援しています。

パラリンアート作品

作品名「明日も。」 作家／おおはしみさ

作品に対する思い

毎日着ている学校の制服・体育着、介護や医療現場でのお仕事着は「あいぼう」のような存在。
着心地が良くて、ずっと着ていたくなるような…
ふわふわした雲で「着心地の良さ」を、カラフルな色合いで「明るい未来」をイメージしています。
笑顔の人たちがカラフルな雲の上を歩いて未来に向かっていく姿を表現しました。

作家プロフィール

2000年生まれ神奈川県在住横浜美術大学在学中にパラリンアートアーティストに登録。
「言葉で表現することは苦手ですが、言葉以上に絵で表現することができます」という作品は、制作しているときの気持ちを独自の色彩で表現し、その迫力ある作品から多くの企業に採用、またイベントでの受賞に繋がっている。



トンボ

CSRレポート2024

2023.7.1～2024.6.30

人と自然を大切にしたい価値ある製品づくりを
株式会社 トンボ

トンボCSRレポートに関するお問い合わせ先

株式会社トンボ サステナビリティ推進本部

〒700-0985 岡山市北区厚生町二丁目2番9号
TEL. (086) 232-0368



この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。
インキは環境負荷の少ない植物油インキを使用しています。

UD FONT

この製品に使用している書体は、より多くの人が読みやすく、誤読されにくいように考慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。





コーポレートスローガン

人と自然を大切にした 価値ある製品づくりを

コーポレートスローガンは、「最良のユニフォームメーカー」をめざす企業姿勢をシンボリックに言い換えたものです

私たちの使命

トンボブランドのもと、最良のユニフォームメーカーをめざし
社会に役立つ確かな価値を創造し、提供します

私たちの行動指針

- ・愛と汗の精神で、人を大切にし、全員経営をめざします
- ・信用を重んじ、約束を守り、誠実に行動します
- ・縁を大切にし、相手の立場を尊重します
- ・社会に役立つ、心の通った開発をめざします
- ・自然と環境に配慮した活動を行います

Contents

02	トップメッセージ	13	健全な企業風土づくり
05	会社概要	15	社会貢献活動
07	持続可能な社会をめざして	17	ハイライト
		19	信頼される企業体制

株式会社トンボ

代表取締役社長

藤原 竜也



Top Message

今までもこれからも

トンボは今年創業148年、1924年の会社設立から100年の節目の年を迎えました。設立以来トンボをご愛顧いただいた生徒・保護者様、お支えいただいている仕入れ先様、お得意先様に深く厚く感謝申し上げます。

祖業の足袋に始まり世の中の服装の変化によって学生服作りに大きく舵を切ったのが設立から6年後の1930年でした。

昨今の円安、燃料費・材料費・物流費の高騰にはものづくり企業として喫緊の対応に迫られています。また、これまで学校制服の主流は詰襟学生服やセーラー服でしたが、ジェンダーレスへの対応で多くの学校様がブレザー制服へモデルチェンジされております。この両面から見てもトンボにとって今が大きな転換期にあると言えます。かつて先輩たちが直面したと同じように現在の社員も一人ひとりの創造力で今の変化にアグレッシブに立ち向かっております。このチャレンジ精神こそがトンボの特徴の一つと言えます。

また、トンボの歴史の中でもう一つの転換期がありました。

1960年に初代社長の三宅保正が学生服と関連深い若い世代の育成を目的に始めたのが現在も続く公益財団法人八正会です。「企業は営利目的だけではなく、

社会に貢献できてこそ存在価値がある」という信念は昔も今も変わることなく私たち社員の中で生きづいており、業績を維持拡大することで八正会を支えていることに重い責任と誇りを感じております。

地球の一部では子どもの不法就労の問題が後を絶ちません。国内では最近ヤングケアラーが大きく取り上げられています。性的マイノリティも含めトンボは制服や体育着を通じて子どもたちが学生時代を安全に明るく過ごすためには何ができるのかを考え、答えを見つけて参ります。

今年は中期三か年計画「ACTION460」の最終期となります。来年7月からは新しい中期三か年計画が始まります。その中にはすでに始まっている新しい挑戦をより具体化してマイルストーンに組み込みます。

足袋作りから現在までに蓄えた縫製技術を軸に適所適材の衣類を研究し、生み出して参ります。そのためにはトンボを応援してくださるすべてのステークホルダーの皆様のお知恵とお力が欠かせません。

今後ともより一層のご指導とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



スクール事業

幼稚園から短大・専門学校までのスクール
ユニフォーム



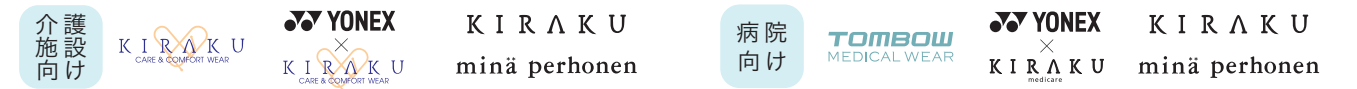
スポーツ事業

幼稚園から高校までのスポーツウェア



ヘルスケア事業

介護スタッフユニフォーム、被介護者向けウェア、医療白衣、検診受診者用ウェアなど

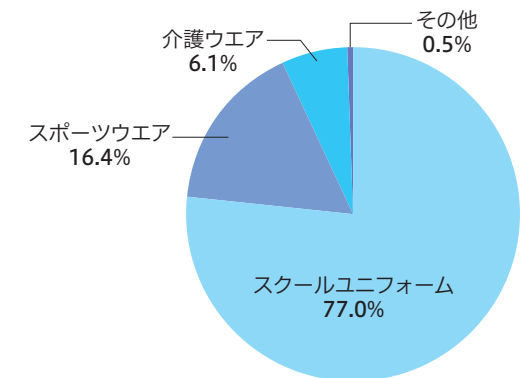


その他事業

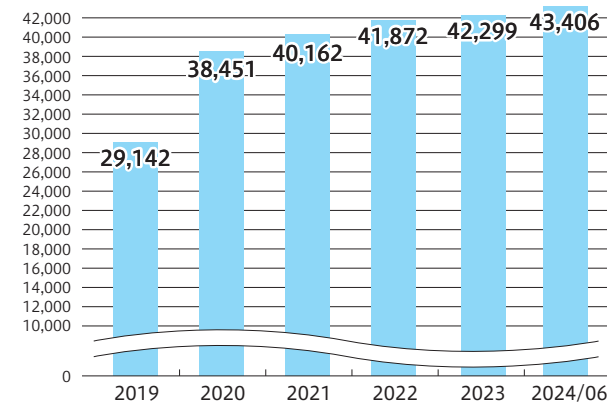
ペット用品



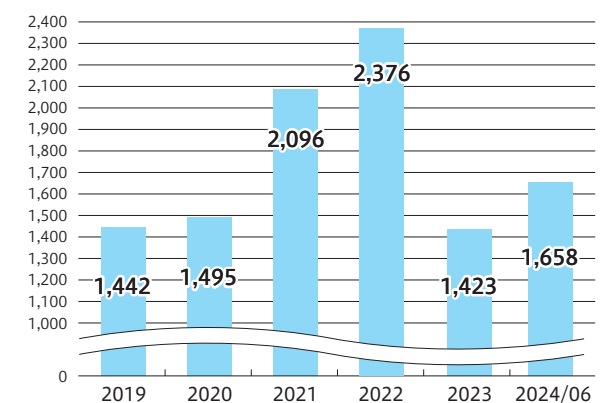
売上高構成比率



連結売上高 (単位: 百万円)



連結経常利益 (単位: 百万円)



会社概要

社 名	株式会社トンボ
事業内容	スクールユニフォーム スポーツウェア 介護・メディカルウェアなどの 企画、製造、販売
U R L	https://www.tombow.gr.jp
会社設立	1924(大正13)年5月10日 創業:1876(明治9)年
資 本 金	2億6187万円
代 表 者	取締役社長 藤原 竜也
従業員数	1,920人 (2024年6月末現在のグループ合計数)
本 店	玉野本社工場

事 業 所	岡山本社 東京本社 名古屋支店 大阪支店 岡山営業所 松江営業所 広島支店 愛媛営業所 福岡支店 北九州営業所 ユニフォーム研究開発センター 岡山工場 美咲工場 玉野物流センター 紅陽台物流センター 東京物流センター
-------	---

関連会社	北海道トンボ株式会社 秋田トンボ株式会社 宮城トンボ株式会社 福島トンボ株式会社 茨城トンボ株式会社 関東トンボ株式会社 新潟トンボ株式会社 長野トンボ株式会社 徳島トンボ株式会社 南九州トンボ株式会社 株式会社モリ商会 株式会社フォワード 株式会社トム 株式会社マリカ 株式会社マイク 株式会社トンボ保険サービス 瀧本株式会社 株式会社創作屋(2024年7月より)
------	--

生産関係 関連会社	トンボソーイング株式会社 サントンボ服装株式会社 株式会社ハートヒルズ 株式会社トンボ倉吉工房
--------------	--

- <凡例>
- 本社

● 支店・営業所

● 関連会社

● 生産・物流・研究開発拠点

● 関連会社(生産関係)

営業拠点

岡山本社と東京本社の両本社体制をとっており、全国の支店・営業所と合わせて10ヶ所の営業拠点を設けています。



岡山本社



東京本社



北九州営業所



広島支店



松江営業所



福岡支店



愛媛営業所

北九州営業所

松江営業所

岡山営業所

岡山本社

玉野本社工場・物流センター

徳島トンボ

トンボソーイング

美咲工場

倉吉工房

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

トンプ

長野トンボ

関東トンボ(群馬支店)

東京本社

茨城トンボ

東京物流センター

宮城トンボ

福島トンボ

秋田トンボ

北海道トンボ

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター

東京物流センター



東京物流センター



名古屋支店



ユニフォーム研究開発センター



紅陽台物流センター



岡山工場



美咲工場



美咲工場

ハートヒルズ

岡山工場

岡山営業所

玉野本社工場

紅陽台

物流センター

研究開発センター

研究開発センター

持続可能な 社会をめざして

「CSR経営」から「サステナブル経営」へ

会社設立100周年を機に、決意を新たに

当社は、2024年5月に設立100周年を迎えました。（2026年5月は創業150周年）
2019年12月世界は新型コロナパンデミックにより、今まで経験した事のないような危機に陥りましたが、ワクチン開発、行動制限、働き方改革等でウィルスとの共存が日常化しました。ただ、気候変動、地政学的問題、人権問題など、国際社会が抱えている課題はまだ多く残っています。このような不安定な環境の中、当社は「サステナブル経営」の実践を目指し活動し持続的な社会貢献とトンポブランド価値向上を図って参ります。



専務取締役
サステナビリティ推進本部
推進委員長 難波 照明

持続可能な社会の実現に寄与する企業として

当社の環境に関する活動報告は、2002年発刊の「環境報告書」からスタートしました。
企業が社会に対して責任を果たし、社会と共に未来永劫続く企業であることをよりシステム化したCSR経営が2007年に新たにスタートし、「トンポCSRレポート」が発刊されて早いもので18年目を迎えます。
CSR経営は、社会的貢献という意味合いが強く、環境や社会への配慮として企業が自主的に行う行動の側面が強いと言われており、最近ではサステナビリティ（持続可能性）が重要な経営理念と言われています。サステナビリティとは、環境や社会などの観点から、地球上に存在している全ての物が多様性と生産性を失うことなく、将来にわたってその機能を継続することができるという概念です。
企業も社会や環境への貢献を目指した動きが重要であり、より長期的な視点で事業を展開していく事が大切です。ただ目先の利益を追い求めるのではなく、自然環境や社会システムの維持にも目を向け、自社と社会が共存し、それぞれが持続可能な状態を実現していく事を目指す「サステナブル経営」が今後必要となります。

「社会」「環境」「人」に対し責任を果たし続けるために

当社のコーポレートスローガンは「人と自然を大切にした価値ある製品づくりを」です。
私たちは、自然と環境に配慮した製品やサービスの提供を推進し、地域社会の活性化や教育支援など社会貢献活動も積極的に進めていき、持続可能な社会の実現に寄与していきます。
サステナビリティと人権尊重は密接に関連しています。持続可能な社会を実現するためには人々の基本的な人権を尊重し、平等を守ることが大切です。当社は、2023年10月1日に「繊維産業における責任ある企業行動実施宣言」^{※1}を発表しました。「サステナブル経営」を単にグループ内従業員の取り組みとして実施するのではなく、当社製品の製造に携わって頂いているパートナー企業が労働条件や人権を尊重する責任を果たす社内基盤を作り上げ、サプライチェーン全体で推進遵守していきます。
また、2024年5月1日に「パートナーシップ構築宣言」^{※2}も発表しました。サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携を行い、脱・低炭素化の取組み等を進め、取引先とともに持続可能な社会を目指します。
創立100周年を迎えたこの時に、改めて「社会」「環境」「人」に対する責任を果たしながら企業の成長を続けていく事が、私たちの目標と再認識し活動して参ります。今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 「繊維産業における責任ある企業行動実施宣言」人権の尊重、環境の保護など、持続可能な開発に貢献できるよう自発的に取組むことを宣言
※2 「パートナーシップ構築宣言」サプライチェーン全体での付加価値向上を図り、取引事業者との連携・共存共栄を目指すことを宣言

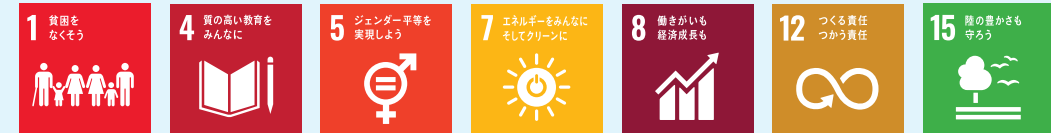
SDGs トンボの取り組み



SDGs 基本方針

取り組み内容

トンボは、17のゴールのうち、7つの目標に取り組んでいます。



課題と対策

環境配慮型のものづくり推進

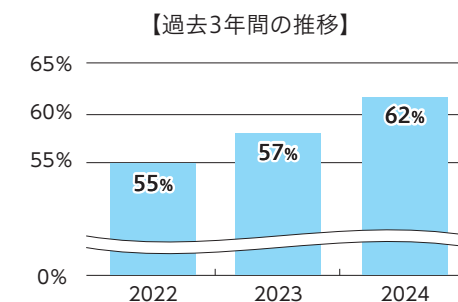
- | | |
|--------------------|--|
| ① 原油使用量の削減 | ・再生ポリエステルの使用促進
・天然由来原料の使用促進 |
| ② 製品ライフサイクルの長寿命化 | ・工業用洗濯対応商品の更なる開発
・成長設計の更なる取り組み |
| ③ 使い捨てプラスチック使用量の削減 | ・生分解性バイオプラスチックの使用推進
・脱プラスチックへの取り組み |
| ④ 水とエネルギー使用量の削減 | ・無水染色による昇華転写プリント製品の販売促進
・イージーケア商品と調温機能商品の開発促進 |

トンボのSDGs設定目標

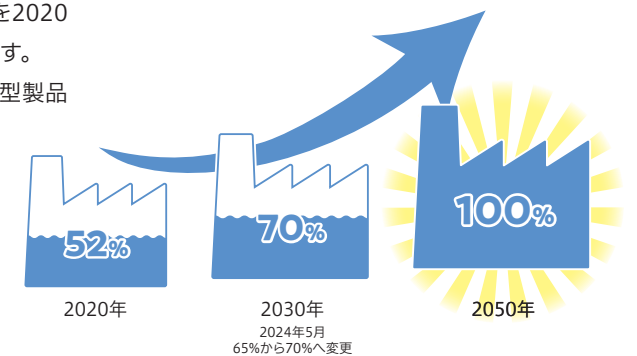
トンボは、コーポレートスローガンでもある、「人と自然を大切にした価値ある製品づくりを」に基づく事業活動によりサステナブル経営を推進して参ります。
SDGsの設定目標は、トンボが作り出す製品の内、環境配慮型製品比率を2020年の52%から、2030年は70%、2050年は100%とすることを目標とします。
今期は、スクール、スポーツ、ヘルスケア各部門の推進により、環境配慮型製品の比率を62%達成することができました。

環境配慮型 製品比率

62%



【環境配慮型製品比率】



環境配慮型製品を開発して社会に貢献



「エコウェイ」はトンボが展開する環境配慮型製品の総称です。お客様へのご提案に際し、環境に配慮した製品であることを視覚的に伝えるため、アイコン化しました。エコウェイ商品の販売促進により持続可能な社会を実現していきたいと考えます。

再生ポリエステルの使用促進

回収ペットボトルを原料とした再生ポリエステル繊維を使用し、製品を作っています。ペットボトルから生まれる再生素材は、ポリエステル繊維と同じ組成の物質で繊維にやすく、耐久性にも優れています。



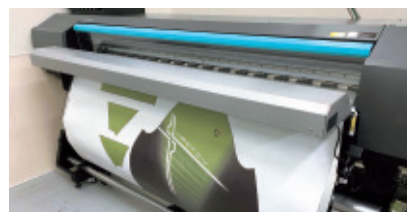
製品ライフサイクルの長寿命化

学校制服は長く着用いただけるよう、丈夫な素材・縫製仕様に加え、糸をほどこことで袖などが簡単に伸ばせる「成長設計」としています。またヘルスケア製品は、ダメージの大きい工業洗濯に対応しています。



無水染色による昇華転写プリント製品の販売促進

体育着で学校の個性や環境保護への貢献をPRする方法として、昇華転写プリント技術をいち早く導入。多くの廃水が生じる通常の染色と異なり、全く水を使わないエコプリント製品の販促に注力しています。



着用済みの制服を回収して社会に貢献



Eco-Reborn®

生徒が着用した制服をトンボが回収し、新しい物をつくり出す循環型リサイクルとして4つのシステムで取り組んでいます。総じて「eco-reborn(エコ-リポーン)」と称し商標登録しています。(第6770612号)運用にあたって様々な企業と提携して循環型リサイクルシステムを運用しています。



MUDA ZERO



服から **服へ**

ウールリサイクルシステム



服から **自動車資材へ**

UX



服から **机へ**



服から **再生資材へ**

ジェンダーレス制服への取り組み



人権問題の一つとしてLGBTQの人たちをめぐる、社会的な動きが急速に進んでいます。トンボでは山口颯一氏をアドバイザーに迎え、多様性に対応した制服づくりに取り組んでいます。気持ちと着心地が良いものを提供することこそが、制服メーカーの使命と考えています。



第38回「WE LOVE トンボ」絵画コンクール



応募数

158,609点

トンボの棲む環境の大切さを描く機会を提供しています。今後も子ども達の描いた素敵な作品にたくさん出会えることを願いコンクールの輪を広げていきます。



児童招待公演「こころの劇場」への支援活動



心豊かな社会の実現を目指して、日本全国の子ども達に演劇の感動を届ける「こころの劇場」の岡山公演上演活動をサポートしています。今期は劇団四季の演目「ジョン万次郎の夢」を合計6回上演し、岡山県内124校9,809名の小学生を無料招待しました。これからも未来を担う子ども達をサポートしていきます。



劇団四季ファミリーミュージカル『ジョン万次郎の夢』撮影:阿部卓仁

第14回 トンボ1129デザインコンクールの開催



応募数

14,759点

「11月29日 いい服の日」を記念し、「生徒の皆さんに斬新な創造力を発揮して頂く機会を」という趣旨のもと、学校制服や体育着のデザイン・アイデアを募集するコンクールを開催。数々の力作の中から厳正な審査を行って入賞作品が決定し、WEB上で発表しました。



公益財団法人 八正会



公益財団法人八正会は、岡山県内の高校生を対象に、返済不要の奨学金を給付している育英事業団です。1960年に設立され、これまでに約800名の生徒を送り出しています。



公益財団法人八正会



NPO法人
日本スコットランド交流協会
トンボ学生服奨学金

NPO法人日本スコットランド交流協会を通じて、高校生の英語学習に対する支援を行っています。

<オンライン英語研修>
2023年7月24日～8月4日
スコットランドにある英国国立スターリング大学のオンラインによる高校生英語研修コースが開催され、高校生9名に参加いただきました。

<受講者の感想>
スコットランドの異文化と、英語の発音の仕方を学びました。
参加する前は、英語が得意ではないため、あまり話さず周りの子に頼ってしまっていたのですが、参加したことで、積極的に発言でき、とても楽しむことができました。



トンボの支援

<能登半島地震物資提供>
2024年1月に発生した能登半島地震の被災者へソックス1万足を提供いたしました。

<生活支援>
支援が必要な方へ向けて、社会福祉法人四つ葉会が運営する支援物資提供施設「みんなのれいぞうこ」へTシャツやハーフパンツなどスポーツウエアを153点提供いたしました。

インターンシップ・
チャレンジワーク受け入れ



受け入れ
人数
(中学校、高等学校対象)

18人

中学校3校 高等学校5校

縫製工場でのミシンやアイロンを使った製造、物流センターでの商品の出入庫など、学校制服のものづくりや納品準備を体験していただきました。参加者からは「正確に素早く作る難しさを実感できた」「細かく確認する習慣ができた」「挨拶の大切さがわかった」等の声がありました。これからも将来の職業選択の参考になるよう応援していきます。



受け入れ
人数
(大学生対象)

18人

各大学と連携し、営業部門では同行営業を含め5日間、システム部門ではシステムの仕様書作成からプログラミングまで17日間、生産部門では工程・稼働分析から改善提案まで10日間のインターンシップを実施しました。実際の仕事を体験してもらうことで、就職活動の視野を広げ、学生自身の成長にも繋げてもらうことができました。

1day営業体験
受け入れ(専門学校生・大学生対象)

対面19人 Web98人

設定された架空の学校の情報をもとに、実際のトンボの営業手法を用いて学校へのヒアリングを実施し、新制服の提案に繋げるソリューション営業体験を実施しました。今期はリモートだけでなく対面での実施も行い、ロールプレイングを通じてソリューション営業の難しさと面白さを体感していただきました。

トンボの取り組み

持続可能な開発目標	施策・取り組み	
1 貧困をなくそう	・ 東日本大震災復興支援 ・ 福祉施設へのボランティア活動 ・ 能登半島地震への支援(義捐金 / 靴下1万足提供)	
4 質の高い教育をみんなに	・ 奨学金育英事業の取り組み (公益財団法人 八正会 / 日本スコットランド交流協会) ・ 文化支援活動 (「WE LOVE トンボ」絵画コンクール / トンボ1129(いい服)デザインコンクール) ・ キャリア教育支援 ・ VICTORYスポーツ教室の開催 ・ ジェンダーレス制服への取り組み ・ LGBTQについての講演会開催 ・ 制服着こなしセミナーの実施 ・ ユニバーサルデザインウエアの開発 ・ 社会人講話の実施 ・ 就労応援団への参加 ・ インターンシップ、チャレンジワークの受け入れ ・ 児童招待公演「こころの劇場」への支援	「WE LOVE トンボ」 絵画コンクール受賞作品 性の多様性に配慮した ジェンダーレス制服 1129デザインコンクール 入賞作品は実際の制服に
5 ジェンダー平等を実現しよう	・ 女性活躍推進活動の取り組み	女性の更なる活躍をめざす Will Withプロジェクト
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	・ カーボンオフセットの取り組み	カーボンオフセットで CO ₂ 排出量を実質ゼロに
8 働きがいも 経済成長も	・ こころの健康相談室 ・ 岡山市SDGs推進パートナーズへの登録 ・ 作業所への労務提供	
12 つくる責任 つかう責任	・ 再生ポリエステル繊維を使用した制服・体育着・介護着の開発 ・ 水質環境に配慮した染色生地調達 ・ 成長に対応できる設計、仕様の取り入れ ・ 残布の提供 ・ 無水染色による昇華転写プリントを使ったスポーツウエア	無水染色による 昇華転写プリント
15 陸の豊かさも 守ろう	・ 真庭トンボの森づくり活動	里山保全に取り組む 真庭トンボの森づくり

社員の
満足を
つなぐ

健全な 企業風土づくり

女性活躍 推進運動

Will Withプロジェクト

WillWithプロジェクトは発足より「自己の成長」「自ら考え自ら行動する」事を目的に今期で7年目を迎えました。「トンポで充実して長く働いていくためには」どうしたらいいのかを考えながら、いろいろな現場の女性社員が集まり、実現に向かって活動しています。

今期は、社員の健康を守るための「健康診断のオプション補助増額」、中堅社員の横のつながりを深めるための「トークセッションの実施」、女性のキャリアアップの支援のための「女性役職者インタビューの実施」、働きやすさや着心地を考えた「社員の服装のルール改善」などを行っています。また、プロジェクトの活動を広く知ってもらうため、ニュースレターの発刊も行っています。

今後も、女性社員だけでなく、全社員が働きやすさと働きがいのある環境づくりにむけて、プロジェクトメンバーを中心に社員の声を聴きながら日々取り組んでいきます。



制度利用者 (2023年実績)

| 育児休業制度 男性 1 人 女性 11 人 | 産後パパ育休制度 男性 4 人

| 育児短時間勤務制度利用者 38 人 | 育休後の復帰率 100%

社員サポート 体制

女性営業職サポート

若手の女性営業社員同士が事業所を超えてコミュニケーションをとることのできる機会として、女性営業ペア面談を実施しています。ペアごとに月に1回の面談を実施、10月には対象者から募ったテーマでのトークセッションの機会を設け、営業活動について、また職場での些細な疑問などについて情報交換を行いました。事業所ごとに見るとまだまだ数の少ない女性営業社員がより成果をあげられるように、コミュニケーションの面からサポートしています。



新入社員サポート

営業部門では、配属後1年間、他部署の先輩社員がパートナーとなり毎月定期面談を行っています。新入社員の疑問や悩みを共有することで緊張や不安を軽減でき、先輩社員の育成力向上にもつながっています。

生産物流部門では、配属1ヶ月後、半年後、2年目、3年目の各社員にヒアリングや交換日記を行い、研修に加えて成長の一助としています。



担当業務に関連する他部署の仕事を1週間程度体験

短期社内留学

担当業務に関連する他部署の仕事を1週間程度体験する事により、業務知識や技術を幅広く学び、スムーズな業務連携ができるようになります。この制度を通じ、部門間の連携を深め円滑な業務の推進に結び付けています。

13人
(2023年実績)

健康確保と仕事と生活の調和の向上

勤務間インターバル制度

社員の健康確保と、仕事と生活の調和のため、11時間(繁忙期は9時間)の勤務間インターバル制度(終業時刻から翌日の始業時刻までの時間の設定)を設けています。

社員が何でも相談できる社外の第三者機関

こころの健康相談室

社員が気軽に何でも相談できるように、社外の第三者機関に「こころの健康相談室」を設けています。メンタル不調の予防や早期発見、復職後のフォローなど、企業全体としての生産性の維持と向上に努めています。

46人
(2023年実績)

リモートワーク環境整備

在宅勤務規定に基づき、リモートアクセス用パソコンを使用したリモートワークの環境を整備しています。

玉野本社工場には託児施設を設置

託児施設

玉野本社工場には託児所を設置しています。満1歳から預けることができるので、育児休業制度の利用が終了した直後から、安心して職場復帰することができます。

9人
(2023年実績)

産後パパ育休制度を利用して

スクール商品課 井口 丞二

2023年12月4日～12月25日までの約3週間で産後パパ育休制度を利用しました。部署異動の初年度でしたが、課内から手厚くフォローしていただけたことで安心して取得・復帰することができました。また、取得に際して、会社からの明瞭な説明があったため、問題無く手続きができました。ワークライフバランスの充実に向け、ぜひ積極的に利用することをお勧めします。



Voice

トンポ スクール

トンポスクール体系

人材育成機関であるトンポスクールでは、「社員は人財」との基本方針に則り、能力開発研修、自己啓発支援、資格取得支援の3つの柱を中心に構成しています。

階層別、専門別に能力開発を支援

能力開発研修

社内研修

- | | | |
|--------|-----------------------|----------------|
| ①管理職研修 | ・新任役職者研修 | ・評価者研修 |
| | ・コーチングスキル研修 | |
| ②階層別研修 | ・新入社員研修、新入社員フォロー研修 | |
| | ・チームワークトレーニング研修 | |
| | ・2年目研修 | ・3年目研修 |
| | ・技能職研修 初級(3年目) | |
| | ・4年目研修 | ・キャリア開発研修(5年目) |
| ③専門別研修 | ・営業基礎力実践強化研修 | |
| ④一般研修 | ・OJTリーダー育成研修 | |
| | ・キャリアデザイン研修(54歳、57歳) | |
| | ・ハラスメント研修 | |
| | ・WillWithモチベーションアップ研修 | |

外部研修

- | | | |
|--------------------|------------|---------|
| ①幹部育成研修 | ・幹部候補生スクール | |
| ②公開講座
(階層別社員選択) | ・コミュニケーション | ・リスク管理 |
| | ・ビジネスマインド | ・マネジメント |
| | ・ビジネススキル | ・業務改善など |

自己啓発支援

自己啓発と人事制度の両面から、社員の通信教育受講を推奨しています。通信教育講座は、事前に会社推薦や部門推薦コースを設定しており、受講期間中に修了した場合には、受講料の援助金を給付しています。
2023年実績:受講者204人・修了率93.6%

資格取得支援

社員一人ひとりのスキルアップを目的に、資格取得を応援しています。繊維製品品質管理士、技能士(縫製、パターン、機械設備)、販売士検定など会社が奨励する資格取得者には、お祝い金を支給しています。

社会貢献活動

スポーツの 振興

岡山シーガルズへ オフィシャルスポンサー支援

Vリーグ機構所属のチームで数少ない市民クラブチーム「岡山シーガルズ」をオフィシャルスポンサーとして応援しています。当社ブランドのVICTORYゲームウェアを着用いただき、選手のパフォーマンス向上をサポートするほか、セレモニージャージやウォームアップウェア、応援Tシャツなども提供しています。



ファジアーノ岡山FCへ オフィシャルスポンサー支援

2017年から地元のプロサッカーチーム「ファジアーノ岡山FC」のオフィシャルスポンサーとして支援しています。今回は3年ぶりに従業員やその家族も参加するオフィシャルスポンサーデーの団体観戦を実施しました。子どもたちはエスコートキッズとしてファジアーノ岡山FCの選手とともに入場し、参加者にとって貴重な体験となりました。



VICTORYスポーツ教室

2001年からスタートしたVICTORYスポーツ教室は「スポーツを通して心の教育」をテーマに、全国の中学校、高等学校に「憧れのアスリート」が直接赴き、講演と実技指導を行うプログラムです。実施校をはじめ各方面から毎年大きな反響をいただいています。

淑徳中学校

東京都

プロ野球・阪神タイガースOBの桧山進次郎さんにお越しいただきました。現役生活から学んだ努力をする方法や、いざという時に力を発揮するコツについてお話しいただきました。講演後の実技指導に参加した生徒からは、「おもしろくてためになった」「体幹がしっかりしていた」と一流選手の考え方や投球・スイングに感激する声が多く寄せられました。



大阪商業大学堺高校

大阪府

17年間プロバレーボール選手として競技生活を送られた、元全日本代表選手の栗原恵さんにお越しいただきました。講演会ではバレーボール人生から得た教訓や、高校生にこそ伝えたいメッセージなどを等身大の言葉で語っていただき、実技指導では練習への意識の持ち方や、基礎練習の大切さなどを細かに指導され、生徒たちにとって有意義な時間となりました。



介護関連 イベント

キラク介護川柳

ヘルスケア本部では、毎年、介護にまつわる川柳を募集しています。今回は第16回を迎え、4,595件ものご応募をいただきました。介護施設などを中心に、10～90代と幅広い年齢の方からご応募をいただき、「日々の励みになる」「作品の発表の場になる」など嬉しいお声をいただいております。

応募数

4,595件

第16回受賞作品

(2023年3月～6月募集分)

🏆 キラク大賞

「ゆっくりと過ぎる時間に笑顔咲く」
ペンネーム アップルパイ

🏆 優秀賞

「職員と孫に優しい二糖流」
ペンネーム トコロイド

「車椅子思わず立ってショートタイム」
ペンネーム カワサン

「AIも超えられません介護愛」
ペンネーム 天和

🏆 鈴木ひとみ賞

「今日もまた泣くと笑うの二刀流」
ペンネーム もっちゃん

➤ 団体賞

岡山県立瀬戸南高等学校

生徒と教職員の皆さま合わせて315通ものご応募をいただき、3年連続の団体賞受賞となりました。優しさや思いやりに溢れた皆さまの川柳は、読む人の心に寄り添い、あたたかな気持ちになる素敵な作品ばかりでした。

🔍 キラク介護川柳



キラクふれあいフォトコンテスト

介護のふれあいから生まれる「笑顔」と「感動」をテーマにしたフォトコンテストを開催しています。第14回の応募作品では、施設でのイベントを楽しむ様子が多く見られると同時に、ご家族との面会の様子も見られました。写真に映るあたたかく素敵な表情は、見る人の心をも「笑顔」にしてくれます。

応募数 **246**件

第14回受賞作品

(2023年11月～2024年2月募集分)

🏆 キラク大賞



「来た！」 ペンネーム みなかみの里

🏆 優秀賞



「ちょっと一服」
ペンネーム ヨッコン



「スイカ割」
ペンネーム ミユウ



「春風にのって」
ペンネーム あすなる

🔍 キラクふれあいフォトコンテスト



トンボ総合展示会 2023

今回の展示会では、LGBTQなど社会の多様性から増加するブレザーへのモデルチェンジを背景に「THE BLAZER〜ブレザーのはじまりとこれから〜」をテーマに総合展示会を東京、大阪、名古屋、福岡の4会場で開催しました。ブレザーの起源とされるケンブリッジボートクラブのクラブユニフォームからはじまり、英国で誕生したブレザーが米国や日本に渡り、学校にユニフォームとして採用され、デザイナーブランドやキャラクターブランドの制服が誕生し、これからの制服へと移り変わる流れで「ブレザーの歴史」を展示しました。



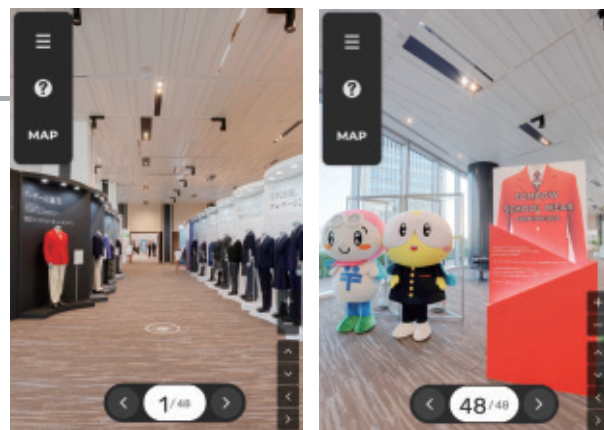
昨年に引き続きパブリックスクールの制服、今年ご採用いただいた新制服、エリア標準服、「ミナ ペルホネン」、「EASTBOY SCHOOL」などのブランド制服を展示。スポーツウエアではブランド提携を発表した「アンダーアーマー」をはじめ「YONEX」、自社ブランドの「VICTORY」の展示、またトンボが取り組むSDGs活動も紹介しました。



東京会場へはジュリア・ロングボトム駐日英国大使が来場され、スコットランドのタータンメーカー、ロキャロン社がトンボとデザインしたタータンのスカート・スラックス、英国の羊毛を使用したジャケットをご覧いただきました。

バーチャル展示会 2023

トンボ総合展示会2023開催と同時にスマートフォンやパソコンでご覧いただけるようバーチャル展示会を開催致しました。展示会の様子を360度カメラで見ることができ、会場内を回遊して詳しい商品情報まで閲覧出来る仕組みです。2023年11月から2024年5月までの期間、多くのお客様にご覧いただきました。



制服モデルチェンジへの対応

学校制服を取り巻く環境の変化

中学校を中心にLGBTQへ配慮する流れから、男女区別なく着られるブレザーへモデルチェンジする動きが急速に進んでいます。2024年度の制服モデルチェンジの学校数は735校で、そのうち中学校のモデルチェンジは609校と過去最多でした。

一校一校の学校とのコミュニケーションを何より大切にして、学校のニーズを徹底的に掘り起こし、その学校にあった制服を提案するなど、学校のリブランディングに貢献することで多くの学校でご採用を頂きました。



小ロット生産体制



ブレザー化が進んだことで取り扱い品番数が大幅に増加し、今まで以上に少ロット・多品種の製造が求められています。徹底した納期管理と生産性向上を実現する仕組み作りや生産管理システムを業界でいち早く取り入れ対応しています。学校制服は入学が決定してから採寸を行って注文を受け付け、入学式までに人数分を納品するという流れです。

納品まで10日〜2週間程度しかないこともあり、お取引のある全国15,000校に対して納期遅延を起こさないよう、生産体制と連携した緻密な納品体制を構築しています。

東京物流センター稼働



売上拡大に伴う首都圏市場への商品供給効率化、事業拡大に向けた更なる物流サービスの向上と機能強化の経営戦略の一環として2023年9月に茨城県笠間市に東京物流センターを開設しました。地上2階建て、延床面積は約1万6,500㎡。トラックドライバーの長時間労働規制強化に伴い、リードタイムの維持が厳しくなる中、関東圏の配達距離の短縮が実現できました。1年目に首都圏の1,250校、2年目に3,500校分の商品の取り扱いを行い、5年後をめどに東日本全域をカバーできる拠点へ拡張していく予定です。

パラリンアート表紙作品について



前期から、一般社団法人障がい者自立推進機構の取組みに賛同し、障がい者アーティストの作品をトンボCSRレポートの表紙に使用しています。今回の表紙にもアーティスト、おおはしみさ氏にオリジナルのアートを描いていただき、表紙に使用しています。これからもパラリンアートのシルバーパートナーとして、この取組みを応援していきます。

成長と
堅実を
つなぐ

信頼される 企業体制

Web注文システムのリニューアル

トンボスクールモール

トンボスクールモールは生徒や保護者をご自宅で採寸・注文できる「ハカルンジャー」、追加購入の注文ができる「TWO」、学校採寸時にお客様のスマートフォンで注文できる「スマホdeエントリー」の3つのコンテンツからなるシステムです。今期は237校、94,000人の方にご利用いただきました。



ROS(Retail Order System)

ROS(Retail Order System)は小売店などの取引先からWeb画面で、「商品の在庫数の照会」「商品のご注文」「荷物の送り状ナンバーの照会」などを行う機能があり、1,226件の取引先で活用いただいています。



どちらのシステムも利便性とUX^{※3}を向上させるため、コロナ禍にリニューアルを行いました。従来の紙の注文用紙からWebの注文に変わること、受注・集計業務が簡素化され、商品デリバリー体制の強化にもつながりました。

※3 UX: ユーザーが感じる使いやすさ、印象といった体験

手縫い針管理の徹底

工場で使用している手縫い針には「TOMBOW」の刻印を入れており、製品への混入や紛失が無いよう管理の徹底をしています。「手縫い針チェックシート」を使用し日々の針の使用状況を確認、針の保管は事務所内の針管理ボックスで一括で行っています。



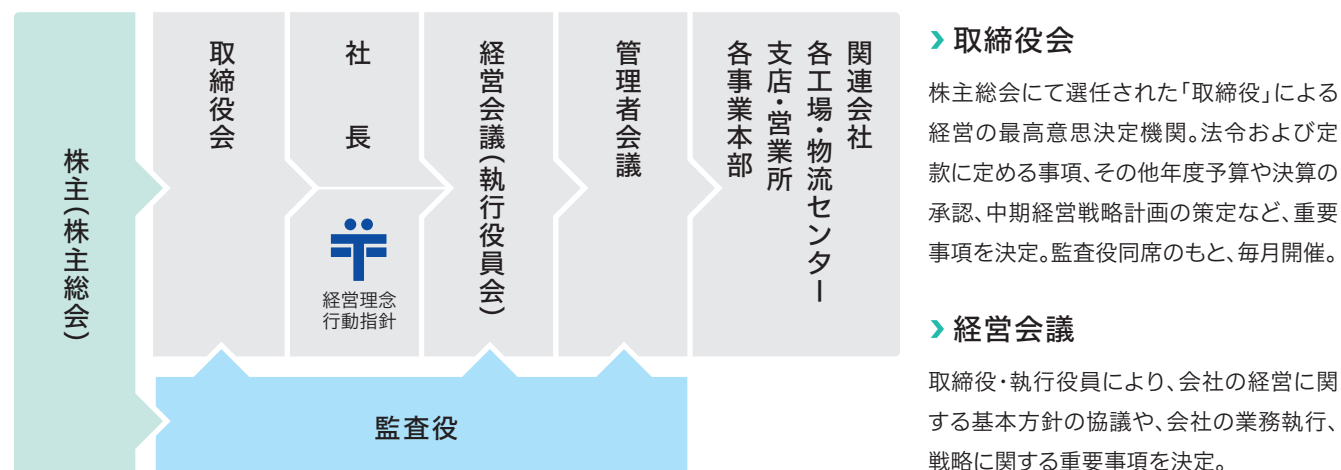
Web工場見学・制服セミナー

コロナ禍を機に、工場見学のスタイルも大きく変化しました。従来通り工場にお越しいただく対面式だけでなく、本社工場と学校をオンラインで繋ぐ、Web工場見学を実施しています。今期は大阪府の私立高校、約400名の生徒がトンボの工場、ユニフォームミュージアムをリモートで見学され、自分たちの制服がどのように作られているのか見ていただきました。また制服セミナーも同時に開催し制服の役割や着こなしについて学んでいただきました。



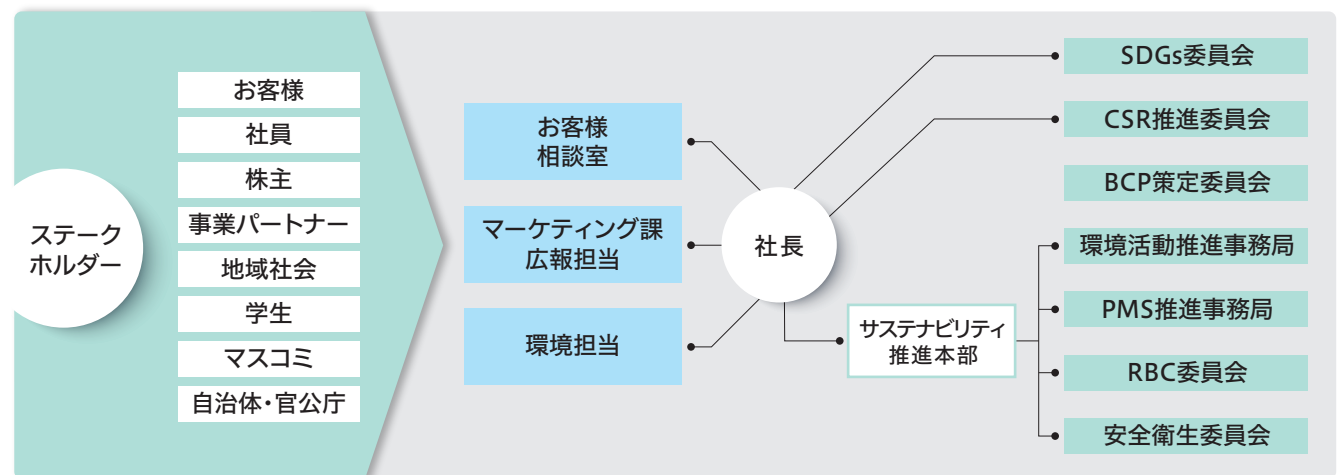
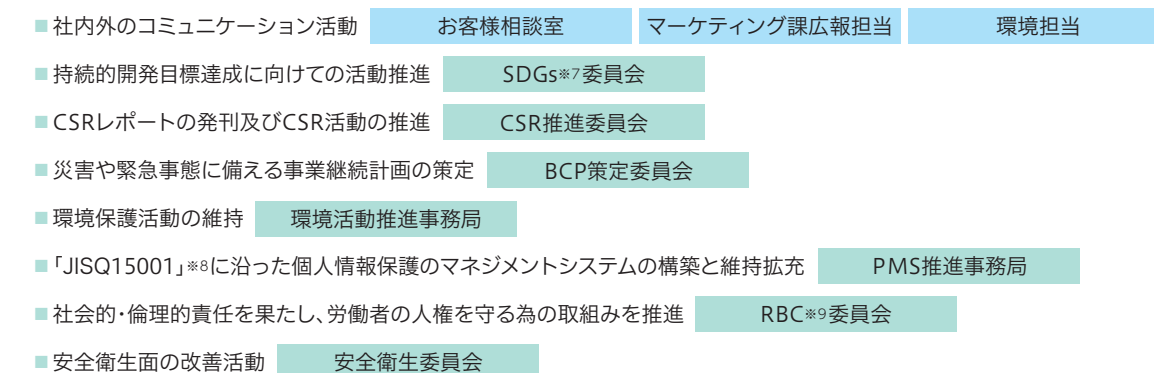
コーポレートガバナンス^{※4}

当社は、ステークホルダー^{※5}との良好な関係のもと、客観性・透明性の高いガバナンス体制の構築と、持続的な企業価値の向上をめざし、「取締役会」および「経営会議(執行役員会)」による迅速かつ正確な意思決定を行い、各事業部門にて業務を執行しています。



CSR^{※6}推進体制

CSRの取り組みを進める社内体制として、社長直轄の「サステナビリティ推進本部」を組織するとともに定期的に委員会や事務局会議を開催し、活動を推進しています。



※4 コーポレートガバナンス: 企業統治、内部統制。企業が社会や個人のために、健全で持続的な企業活動を行うための仕組み。

※5 ステークホルダー: 企業活動に関する利害関係者。

※6 CSR(Corporate Social Responsibility): 企業の社会的責任、社会における企業のあり方、地域社会の中での役割・責任。

※7 SDGs:Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)

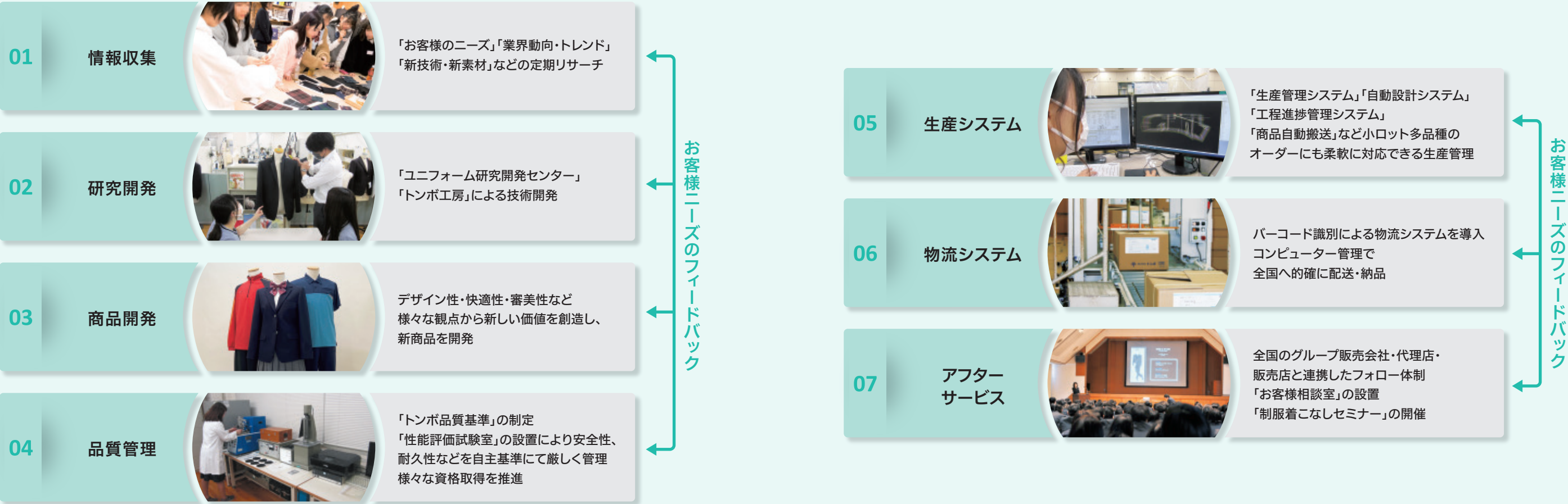
※8 JISQ15001: プライバシーマークの認定基準の日本工業規格。「個人情報保護マネジメントシステムの要求事項」

※9 RBC(Responsible Business Conduct): 責任ある企業行動

品質保証体制(TOMBOW Quality Assurance)

お客様にとって心地よい制服をお届けするために、「トンボ品質基準」に照らし合わせながら独自の品質管理体制で製品づくりを行っています。

ものづくりの基本ステップ



品質へのこだわり



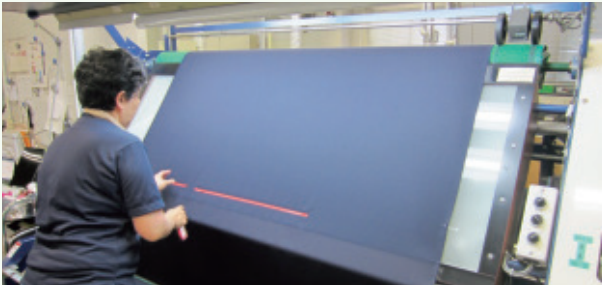
着用試験

新製品、新素材開発時に社員モニターによる一定期間の試着試験を実施しています。数ヶ月間着用後の製品をチェックし問題ないことが確認できたもののみ新製品として発表します。



物性試験

スポーツ生産部では生地を新規採用する際に物性試験を行います。試験項目は生地の針穴や糸切れの確認を行う「可縫製試験」、アイロン、芯貼り、昇華プリントの熱による収縮を確認する「収縮試験」です。試験に合格した生地のみ新規採用しています。



素材の検査「検反」

素材が入荷すると「検反」と呼ばれる素材の傷などを目視で確認する作業を行います。裁断や縫製前に事前検査することで、不良品の出荷を防ぐことにつながっています。



安心の検査体制

縫いあがった製品は全品検品を行っています。縫製仕様書と製品の照合、縫い目のチェックを行い、最後に検針器で針や異物の混入が無いか確認します。